

ねずみ防除のてびき



ねずみの防除を考えましょう

ねずみは、飲食物を食い荒らすだけでなく、サルモネラ菌等の病原菌やダニを媒介することもあります。

また、家屋、家具、衣類をはじめ、電線をかじることもあり、様々な被害を及ぼします。

この冊子を参考に、ねずみの特徴や習性を十分に理解したうえで、効果的なねずみ防除をしましょう。

台東区台東保健所

東京に住むねずみ

ドブネズミ



■ 特徴

体長:約20～25cm
体重:約200～450g

- ・大型で、どう猛
- ・耳は厚くて小さく、尾が体長より短い
- ・警戒心が弱い
- ・下水や地下を中心に行動する
- ・建物周辺や歩道の植込みに巣穴を掘る
- ・寒さには比較的強い
- ・垂直行動や綱渡りは得意ではないが、泳ぎが得意
- ・雑食性で動物質を好む
- ・非常に気性が荒くどう猛なため、人間に直接的な被害をもたらすだけでなく、病原菌を媒介する場合もある

クマネズミ



■ 特徴

体長:約15～20cm
体重:約100～200g

- ・ドブネズミよりやや小さい
- ・耳は薄くて大きく、尾が体長より長い
- ・警戒心が強い
- ・もともと東南アジアが原産地
- ・森林内で樹上生活をしていたため、運動能力に優れている
- ・よじ登る能力が著しく高く、都市のビル環境に高い適応能力がある
- ・殺そ剤はなかなか食べない
- ・トラップにもかかりにくい
- ・殺そ剤に抵抗性がある個体もいる
- ・現在、都心で増えていると言われている

ねずみの習性

■ 特徴

- ・ 夜間活動性の動物で、感覚器官(耳や鼻)が発達している。
- ・ 非常に用心深く、狭い通路や物陰に沿って行動する。直径1～2.5cmの穴があれば通過できる。
- ・ 雑食性で何でも食べ、1日に体重の約4分の1の量を食べる。歯が1年に1m程度伸びるため、硬いものをかじり歯を削る。
- ・ 繁殖力が強く、生後3ヶ月から出産する。年に6～7回分娩し、1回に平均6～8匹の子どもを産む。寿命は2～3年。

■ 好物

- ・ ねずみの好物は、それぞれの家庭により異なる。
- ・ 一般に、油ものや味付けしたものを好む。特に、ソーセージ、はんぺん、さつま揚げ等の魚肉練り製品が好み。
- ・ さつまいも、チーズ、ヒマワリの種、花、観葉植物(葉・新芽・球根・油粕)等も大好物。



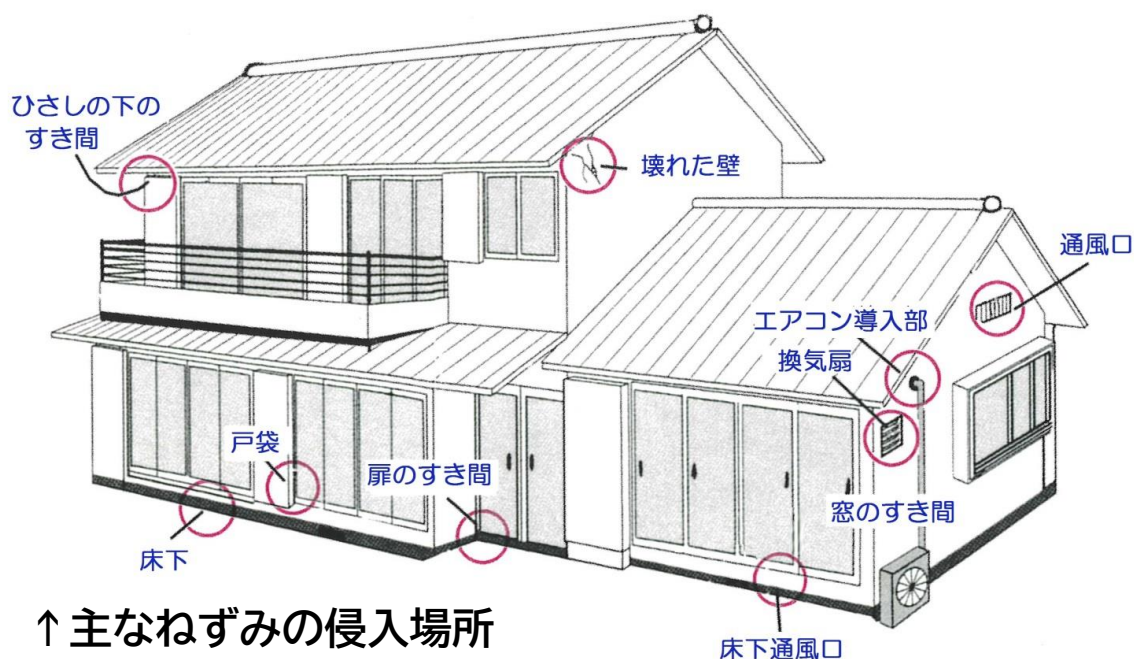
【行動範囲】

ねずみは毎日、えさ場・繁殖場所・運動場を行き来する



ねずみの習性

■ 侵入場所・経路

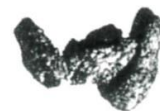
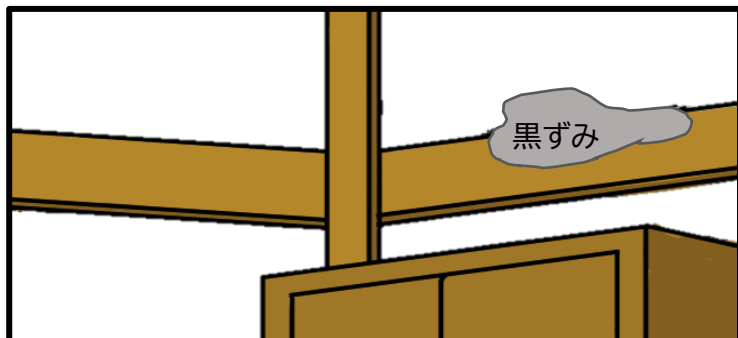


「建物のすき間」や「開放されているドア、扉」等のあらゆるすき間から侵入します



ラットサイン（ねずみがいる証拠）

- ・ ねずみが何度も通る場所は、ねずみの体の汚れが付着し黒ずみになる
- ・ 糞や尿を見かける
- ・ 寝静まってから天井裏で音がする
- ・ イエダニが増える



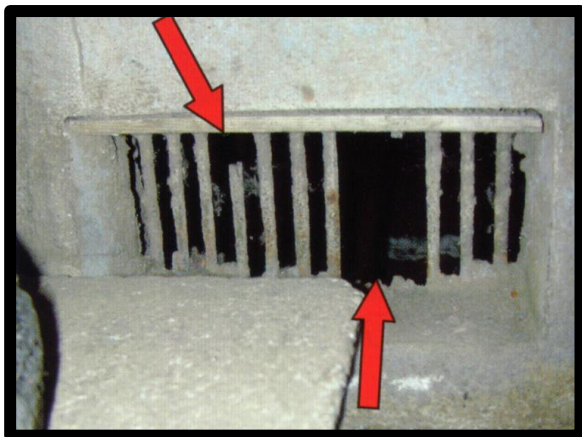
[ドブネズミの糞(原寸大)]



[クマネズミの糞(原寸大)]

侵入場所の例

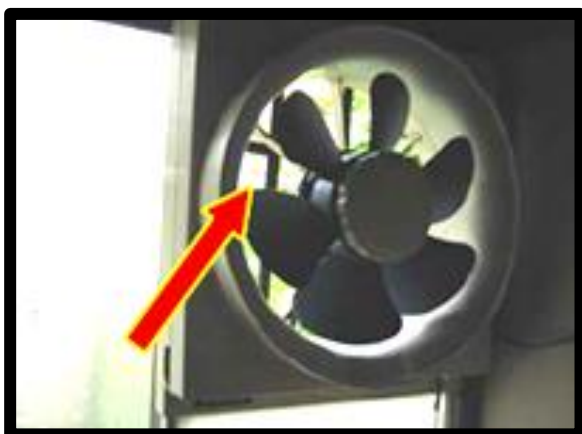
・ 破損している床下換気口から侵入



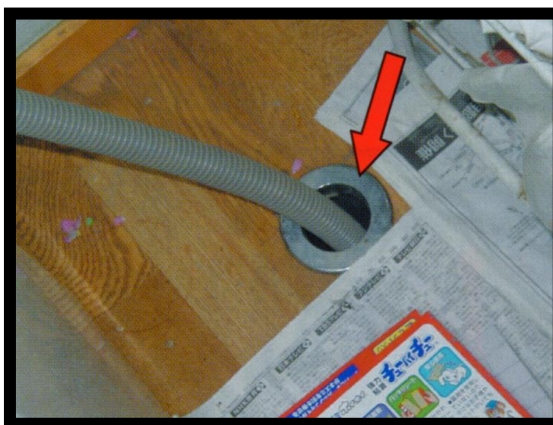
・ 外壁のエアコン配管から侵入



・ ダンパーが開いている換気扇から侵入



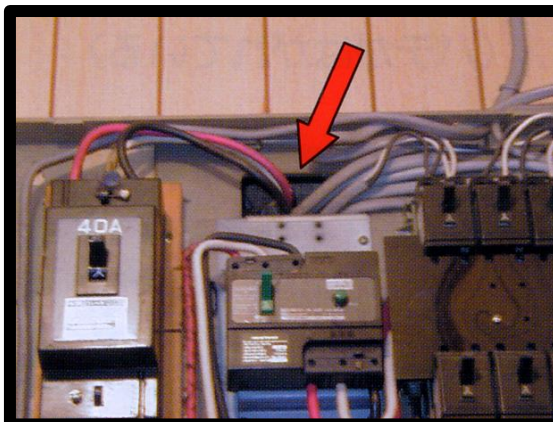
・ 洗濯機の排水口の周囲から侵入



・ 天板のずれから侵入



・ 配電盤のすき間から侵入



ねずみが住みにくい環境づくり

ねずみの防除で最も効果的な対策は、環境的防除方法です。
ねずみが住みにくい環境づくりでねずみを防除しましょう。
トラップや殺そ剤による防除は、補助手段でしかありません。

ねずみ防除の3大原則

①えさをなくす（食べ物の管理）

②侵入口をふさぐ（防そ構造・防そ工事）

③巣をつくらせない（整理整頓・清掃）



①えさをなくす（食べ物の管理）

ねずみがいつでも食べ物を食べられる状態は、
ねずみを飼っていることと同じです。
えさが豊富な状態だと、ねずみはたくさん子どもを産みます。

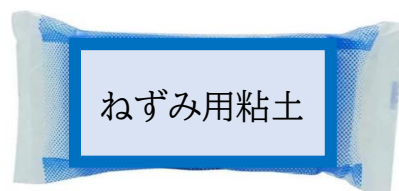
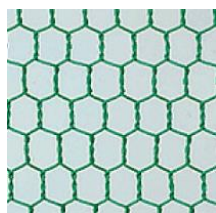
- ・食品やごみはふた付き容器に格納する。
- ・食品を台所やテーブルの上などに出っぱなしにしない。仏壇のお供え物や食事に使った食器は、早めに片付ける。
- ・流しの三角コーナーなどの生ごみにも注意する。生ごみは必ずふた付きの容器に入れる。
- ・犬や猫などのペットの食べ残しに注意する。





②侵入口をふさぐ（防そ構造・防そ工事）

すき間を塞ぐ材料としては、台所用金属タワシ、亀甲金網、厚手の板、塞ぎ用専用粘土、パテ、モルタル、セメントなどがあります。ダンボール、新聞紙、ガムテープなどは、一時的にねずみが出なくなりますが、予防にはならず、巢の材料にされることもあるので適しません。



※配電盤やブレーカー周辺は、電気工事業者に依頼しましょう。
自分で穴塞ぎをしないでください。感電や火災など思わぬ事故につながる恐れがあります。



③巣をつくらせない（整理整頓・清掃）



〔整理整頓前〕



〔整理整頓後〕

- ・ 室内や家の周りを整理整頓する。荷物などを積み上げない(物陰を作らない)。
- ・ 普段あまり出し入れしない押入れの奥や物置などは定期的に整理・清掃する。
- ・ 衣類・医薬品等は、「ふた付き」ケースで保管する。
- ・ 巣の材料になりやすい「ポリ袋・紙・布」等は1か所にまとめて管理する。

トラップによる防除

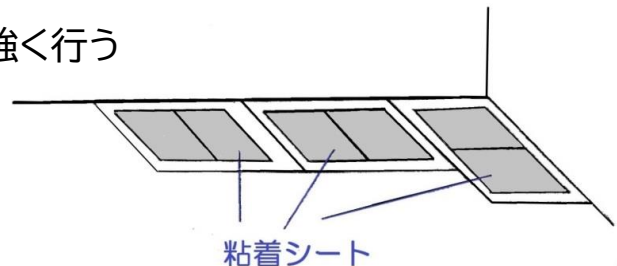
既に建物内に侵入したねずみの防除方法を紹介します。
トラップによる防除は一時的に効果があるだけで、
抜本的なねずみ防除にはならないので注意しましょう。

■粘着シート

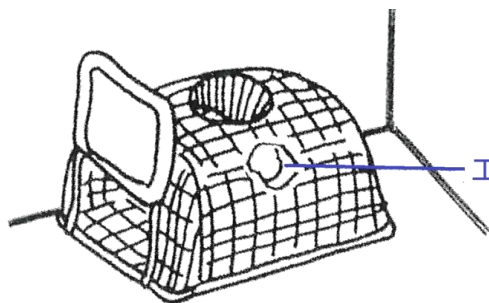
設置のポイント



- ・ねずみの通り道やすき間の隅、壁際にぴったり寄せて置く
- ・粘着シートの設置時には、できるだけ雰囲気を変えないように置く
- ・すき間が狭い場合は、粘着シートをコの字型やL字型に曲げるなどの工夫をする
- ・ねずみが捕れたらすぐに片付ける
- ・ねずみは大変用心深いため、根気強く行う



■カゴ式捕獲器



カゴ式捕獲器は、ドブネズミでは捕獲可能ですがクマネズミは捕獲できません。

現在は、安全性や衛生面の観点から粘着シートが多く使われています。設置のポイントは粘着シートと同様です。

薬剤（殺そ剤）による防除

薬剤(殺そ剤)による防除は、トラップと同様に環境対策の補助手段です。
環境を改善しない限り、一時的に効果があるだけで
抜本的なねずみ防除になりません。

■ 殺そ剤の分類

抗凝血性 殺そ剤	ワルファリン クマテトラリル フマリンなど	毎日少しずつ連続して取り込む ことによって効果が上がる
急性殺そ剤	シリロシド ノルボルマイドなど	体内に取り込まれると短時間で 効果が現れる



使用方法

- ・ 死んだねずみは腐敗したり、害虫が発生するなどの二次被害の原因に繋がるため、殺そ剤を使用する季節を選ぶ(3月上旬から11月上旬までは使用しない)
- ・ 厨房(特に飲食店)での使用は避ける
- ・ 子どもやペットの誤飲・誤食の危険性があるので、使用上の注意・説明書等をよく読み、使用方法や取り扱いに十分気をつける
- ・ 殺そ剤のそばに忌避剤を噴きかけない

クマネズミは非常に用心深く、環境の変化に敏感で、
薬剤をなかなか食べないなど効果が少ないようです。
また、薬剤に抵抗性があるねずみも出現してきています。



屋外のねずみ防除

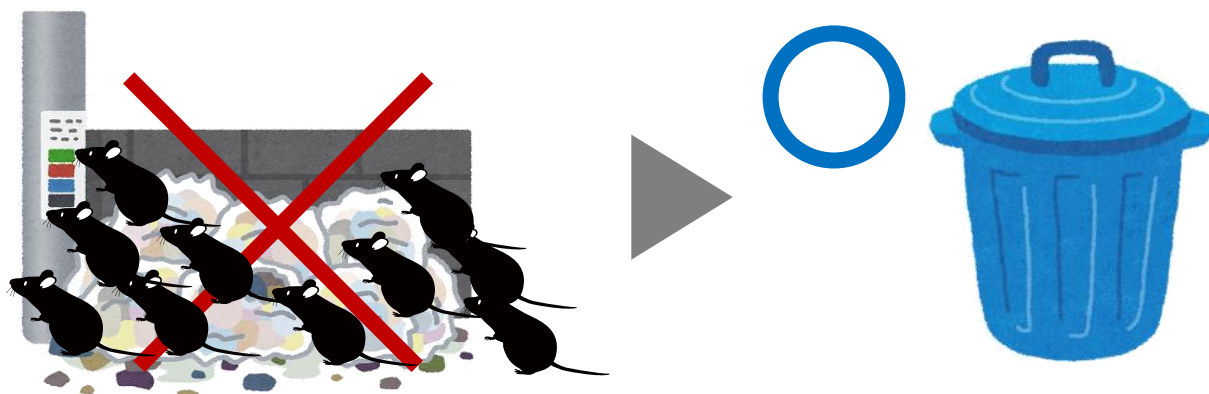
屋外のねずみ対策も、屋内のねずみ対策と同様で、

最も効果的な対策は、環境的防除方法です。

ねずみが住みにくい環境づくりでねずみを防除しましょう。



①えさをなくす（ごみの管理）



ねずみは、毎日体重の約4分の1の食べ物がなければ生きていけません。そのため、えさとなるごみを管理することが効果的です。

特に、生ごみをビニール袋のまま出すと、ねずみがビニールをかじり、中の生ごみをえさとして食べる恐れがあります。生ごみはふた付きのごみ箱や密閉した容器に入れ、ねずみのえさ場とならないような環境を作りましょう。



ごみはふた付きの容器へ



個人個人がしっかりとふた付きの容器に入れるなど、ごみの管理を行い地域のねずみ対策に協力しましょう。



②巣をつくらせない（整理整頓・清掃）

ねずみは、えさ場の近くの植え込み等に巣穴を作ったり、段ボールの中、戸棚、ごみ置場など目のつかない場所に巣を作ります。



植え込みに作られた巣穴



- ・ 建物同士の隙間や施設の周りは整理整頓し、物陰を作らない
- ・ ビニール袋、紙くず、布切れは巣の材料になるため、適切に保管する
- ・ コンクリートの割れ目は工事等を行って、隙間をなくす

専門業者

個人で防除が難しい場合には・・・

台東保健所では、建築物衛生法の登録業者等を紹介しています。

また、ねずみ衛生害虫の防除や予防措置を行なう専門業者があります。



公益社団法人 東京都ペストコントロール協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-9-5 東園ビル4階

電話：03-3254-0014

ねずみ衛生害虫の相談や業者紹介をしています

台東保健所 生活衛生課 環境衛生担当
東京都台東区東上野4-22-8 電話：03-3847-9455
令和7年度登録第18号

2025.06:1000